



純福音東京教会 45周年記念聖会
「チョー・ヨンギ牧師追悼礼拝」



2022年9月16日(金)の19時から、純福音東京教会は新宿文化センターにて、汝矣島純福音教会の担任牧師であるイ・ヨンフン牧師を講師として招き、純福音東京教会45周年記念聖会、「チョー・ヨンギ牧師追悼礼拝」を神様にお捧げしました。

この聖会は、パンデミックの影響で教会を離れていた信徒を教会に呼び戻し、力づけること、そして、信徒が家族や隣人を導くことを目的とした

伝道集会として執り行われましたが、故チョー・ヨンギ牧師がその生涯で作りに上げた日本一千万救霊への道筋を再認識することができ、イ・ヨンフン牧師の力強いメッセージを通じて、主が与えてくださった日本での福音伝播のビジョンを改めて日本のクリスチャンに共有される、尊いリバイバル聖会となりました。

(詳細は、次ページを参照)

目次

- P2 : 純福音東京教会45周年記念聖会「チョー・ヨンギ牧師追悼礼拝」
- P3 : ニューヨーク聖会
- P4 : 担任牧師コラム「究極的な勝利」
- P4 : 機関紹介「男性宣教会」

発行 || 純福音東京教会
編集 || 文書宣教会
所在地 || 新宿区歌舞伎町2-2-19
電話 || 03-3232-0667
FAX || 03-3232-0729
WEB || www.fgtc.jp



純福音東京教会の
ホームページはこちら 
(ホームページからも新聞が見られます。)

<https://www.fgtc.jp>



純福音東京教会 45周年記念聖会 「チョー・ヨンギ牧師追悼礼拝」開催

聖会1部：賛美とワーシップダンス

今回の聖会は2部構成となっており、1部は教会学校と青年部、連合聖歌隊を中心とした賛美とワーシップダンスが披露され、神様に捧げられました。

パンデミックの影響で自由な活動が制限される中、初来者にも教会の魅力が伝わるように、考え、準備されたプログラムは、聖霊様が働き、多くの参加者の心を開き、

御言葉を受け入れることを助けました。

見えるところ、見えないところで献身した信徒に感謝し、神様に栄光をお捧げします。



聖会2部：チョー・ヨンギ牧師追悼礼拝

「さて、信仰とは、望んでいる事からを確信し、まだ見ていない事実を確認することである。 - 中略 - 信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自分を求める者に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。」
— ヘブル人への手紙 11:1-6 —



イ・ヨンファン牧師は、日本語で純福音東京教会45周年のお祝いの言葉を述べ、「信仰の働き(ヘブル11:1-6)」という主題で御言葉を述べ伝えました。

「聖なる夢を持ち、御言葉を握りしめ、夢に向かい大胆に進まなければならない」そして、「チョー・ヨンギ牧師から受け継いだ日本一千万救霊という使命に向かって祈り、福音を宣べ伝え、リバイバルを夢見るように」と信徒達に向けて、御言葉を取り次ぎました。また、五十の福音、三重の祝福、四次元の霊性で神様が喜ばれる信徒となるように、祝福しました。

続いて、故チョー・ヨンギ牧師の家族を代表し、息子であるチョー・ミンジェ国民日報会長から、この聖会を準備した純福音東京教会に向けて感謝の辞が伝えられました。

聖会の最後は、純福音東京教会の志垣重政担任牧師が、賛美を導いた後、「日本一千万救霊のために力を尽くしてきたチョー・ヨンギ牧師の意を受け継いで、ただ聖霊様に頼り、信仰を持って前進していく」と力強く宣言し、イ・ヨンファン牧師の祝福で締めくくられました。



アメリカ・ニューヨーク宣教 ～ニューヨーク純福音連合教会リバイバル聖会～

2022年9月28日(水)、純福音東京教会の宣教団は、パンデミック後初の世界宣教地としてアメリカ・ニューヨークに訪れ、世界宣教の再スタートを切りました。

アメリカは世界最大のクリスチャン国家であり、その中でもニューヨークは、現代のローマと呼ばれることもある、最も人口が多い都市です。

そして、今回訪れたニューヨーク純福音連合教会は、ニューヨークの中でも特に韓国人の人口密度が高いフラッシングという地域に位置しており、韓国人移民教会として、非常に重要な役割を担っている純福音教会となります。



「悪しき者のはかりごとによらず、罪びとの道に立たず、あざける者の座にすわらぬ人はさいわいである。このような人は主のおきてをよこび、昼も夜もそのおきてを思う。このような人は流れのほとりに植えられた木の時が来ると実を結び、その葉もしばまないように、そのなすところは皆栄える。」
— 詩篇 1:1-3 —



ニューヨーク純福音連合教会リバイバル聖会の講師として招かれた志垣重政担任牧師は、ニューヨーク純福音連合教会ヤン・スンホ担任牧師から紹介を受け、「幸いな人(詩篇1:1-3)」という主題で神様からのメッセージを取り次ぎました。

「神様の御言葉の中で生きる人、神様の御心通りに生きている人は、正しい目標に向かって生きているため、罪人の道ではなく、真理の道を歩んでいきます。」と伝え、「神様と共に描く夢は、必ず成就し、自分だけではなく、隣人と幸せを分かち合う幸いな人となります。」と恵みを分かち合いました。



アメリカはパンデミック終息を宣言しており、街中でマスクをしている人を見かけることはなく、今回の聖会に参加した信徒も、韓国人信徒も含め、ほとんどがマスクをしておらず、パンデミックから解放されているようでした。

純福音東京教会も、自由に聖殿礼拝を捧げられるようにすることは勿論のこと、信徒がパンデミックから心から解放され、平安を取り戻すことで、恵みを楽しむように切に祈り、一步一步前進していきます。

志垣重政担任牧師コラム

『究極的な勝利』

「兄弟達は、小羊の血と彼らの証しの言葉とによって、彼にうち勝ち、死に至るまでもその命を惜しまなかった。」
-ヨハネの黙示録 12:11-

私達は靈的存在であり、神様は活かす靈、悪魔・悪霊は殺す靈です。救い主を受け入れた事により、五感の世界のみではなく、靈的世界が広がり、靈的知識を取得していきます。「神は靈であるから、礼拝をする者も、靈とまこととをもって礼拝すべきである。」(ヨハネ4:24) 聖霊充滿とは、活かす靈に充たされる事であり、結果として悪しき靈は追い出されます。悪魔は私達の考えに侵入して、不安・怖れ・憎悪・憤怒・挫折をもたらそうとします。悪魔の手法は、内的世界を破壊する事により、外的世界における失敗者にする事にあります。どうすれば、この内的世界への攻撃を防ぐ事ができるのでしょうか。

第一は、血潮による証拠で対抗する事です。法廷で無実を立証するには、その根拠が必要な様に、悪魔がほえたけり、私達を呑み込もうとしても、私達にはゲツセマネの丘で流された血潮があります。この血潮は、人類を自分勝手な思惑から、神様の御旨へ転換する尊い証拠だからです。また、ポンテオピラトの庭で流された血潮は、癒しの証拠である、健康を追い求める権利を回復されるものでした。「その打たれた傷によって、我々は癒されたのだ。」(イザヤ53:5) 更に、茨の冠を被られ、流された血潮によって、人類の全ての呪いは清算された事を主張しましょう。そして、十字架で流された血潮は、私達の無実を証明する厳然たる証拠であり、勝利への道なの

です。

第二は、御言葉の証拠で対抗する事です。神様は御言葉で天地万物をお造りになりました。御言葉には、創造的能力があるのです。信仰告白には、偉大な能力がある事を示されたのです。「死と生とは舌に支配される、これを受する者はその実を食べる」(箴言18:21) ペテロは美しの門において足なえに向かって「金銀は私には無い、然し、私にあるものをあげよう。ナザレ人イエス・キリストの名によって歩きなさい。」(使徒行伝3:6) と宣言して、癒しを行いました。私達にも御言葉を信じ、且つ、使用する権勢がある事を信じましょう。

第三は、暮らしの中での唇の告白です。言葉には二種類があって、一つは殺す言葉、もう一つは活かす言葉です。殺す言葉とは、健康を害する言葉、成功を殺してしまう言葉、祝福を殺してしまう言葉、幸福を殺す言葉、信仰を殺す言葉の事を言います。逆に、活かす言葉とは、十字架を通して、新しいイメージ、自画像を描かせる言葉です。罪赦された事、義とされた事、聖霊様が共におられる事、癒された事、呪いから解放され祝福されている事、永遠なる命を得、天国に暮らす事を語るのです。これらの告白が、悪魔を退け、追放し、勝利をもたらします。人の人生は舌の用い方によって決まります。

キリストの血潮と神の御言葉により永遠なる勝利があります様に！

機関紹介

男性宣教会

ビジョンと活動の目的

正直に、**誠実**に、
勤勉に、**忠実**に、

聖徒が安心して礼拝を捧げられる環境を提供し、聖殿に集う礼拝者が恵みを受け取れるように、祈り、献身します。

活動の内容

1. 礼拝中の警備など、防犯に必要な活動
2. 聖殿の消毒など、防疫に必要な活動
3. 聖殿での座席案内など、聖徒が円滑に礼拝を捧げられるようにするための活動
4. 礼拝後の忘れ物確認とごみ撤去など、聖徒が快く礼拝を捧げられるようにするための活動
5. 聖餐主日でのパンとぶどう酒の配膳、および片付けなど、礼拝において必要不可欠な奉仕活動



男性宣教会 募集

神様に褒めて頂き、献身の恵みと喜びを分かち合える男性聖徒の入会を歓迎します。

関心のある方は、まず、教区長に相談して、宣教会まで、お問い合わせください。